

KISC 11

2019
November

Kagoshima Industry Support Center



町田酒造株式会社
代表取締役社長
中村 安久さん

今号の表紙



2018年ロサンゼルス国際スピリッツコンペティションで『BEST OF SHOCHU』に選ばれた『奄美黒糖焼酎 里の曙ゴールド』



町田酒造株式会社

代表取締役社長 中村 安久

<企業概要>

所在地 大島郡龍郷町大勝3321
 設立 1983年10月
 従業員数 64名
 事業内容 黒糖焼酎製造・販売
 TEL 0997-62-5011
 FAX 0997-62-5012
 URL <https://www.satoake.jp/>
 E-mail info@satoake.jp

今号の表紙は、奄美群島でのみ製造が認められている黒糖焼酎を製造販売している町田酒造株式会社の代表取締役社長 中村 安久さんです。

同社は、1983年、戦前から旧住用村で黒糖焼酎を製造していた石原酒造から製造免許を譲り受け創業、1991年に工場を現在地に新設し、社名の変更も行いました。

全工程をコンピューター制御した近代的な新工場で品質の安定を図り、黒糖焼酎業界で初めて導入した減圧状態のタンクの中でもろみを蒸留する「減圧蒸留」により製造した代表銘柄の「里の曙」は、雑味のないさわやかで軽快な口当たりを、また時間をかけて熟成させる「三年貯蔵」により、まろやかで深みのある味わいを生み出しています。

飲みやすくまろやかな風味は、男性ばかりでなく女性や若者からも支持されるようになり、昨年5月「2018年ロサンゼルス・インターナショナル・スピリッツ・コンペティション」で初出品の『里の曙ゴールド』が焼酎部門で最高金賞を受賞。本年3月、ベルリンで開催された「第6回国際スピリッツコンペティション」で『里の曙三年貯蔵』が金賞を初受賞。4月にはパリで開催された「第13回フェミニナリーズ世界ワインコンクール2019」で『奄美たんかん酒』がリキュール部門で金賞を初受賞しました。



蒸留機と樽貯蔵

◇大胆な「働き方改革」の断行

設立から25年が経過し、焼酎ブームも去り、経営環境が厳しさを増す中、営業力と内部管理体制を強化し健全な形で次世代へ継承するため、2016年4月、鹿児島銀行大島支店長も務めた中村氏を代表取締役社長に招へいし、経営体制の刷新を図りました。

就任した中村社長は、会社の変化を従業員に肌感覚で

理解してもらい意識変革を促す狙いで、大胆な「働き方改革」を展開。月25日勤務から段階的に「完全週休2日制」を導入、増えた休日を有効活用することを目的に「兼業・副業推奨」や、「男性の育児休暇取得」「女性管理職の積極登用」「社内委員会の設置による全従業員経営参画」など、地域でも先進的な取り組みを実践し、企業イメージ・従業員のやる気アップ、地域の人手不足解消などさまざまな効果をもたらしました。

2年日以降も「大幅賃上げ実施」「70歳定年延長実施」「育孫休暇導入」「従業員退職金制度全面改定」など、更なる「先進的働き方改革」を推進し、働きやすい職場環境を整備しています。

こうした取り組みが評価され、昨年10月、鹿児島県から「かごしま働き方改革推進企業」に県内企業で初認定、11月には「鹿児島県女性活躍推進優良企業」として奄美群島内企業で初表彰されました。

◇国内販路開拓と海外展開

少子高齢化、若者の酒離れなどで国内での消費量が減少している中で、国内市場の掘り起こしを目指し、東京営業所員を増員して、お酒が強くて一人当たりの消費額も大きい東北、北海道、北陸エリアでの営業活動や、沖縄での試飲会の開催など販路開拓に注力しています。

また、本年4月には「HACCP認定」を取得、米国や中国への海外展開も積極的に行っています。

◇今後の取組

「販売部門では、今まで取り組んできた国内マーケットの拡大と、海外展開をさらに拍車をかけてやっていきたいと思っていますし、今後はネット通販業者や、既存の販売店以外の業態との接点を拡大していきたい。働き方改革については考えつくことはほぼやり尽くしたので、男性の育児休業100%取得を継続します。

地域との関係も、しっかりコミットし知恵やアイデアも出し、様々な角度で貢献・支援をしていきたい。地元で繁栄あつての当社だと思っています。」と中村社長は語っておられます。

CONTENTS

- 2 今号の表紙
- 3 私の思い
- 4 経営相談所よろず支援拠点
- 5 事業承継支援事務局
- 6 プロフェッショナル人材戦略拠点
- 7 わが社の輝く女性 株式会社東郷 下竹 ひろみさん
- 8 特集 令和元年度鹿児島県経営品質賞『知事賞(大賞)』『優秀賞』を受賞
- 10 応援します! 中小企業の経営革新
- 12 企業紹介 株式会社ソフト流通センター
- 13 特集 平成30年度主要事業の支援事例紹介
- 16 取引振興コーナー 広告



観光客を対象に黒糖焼酎蔵の見学も実施しています。

私の 思い



株式会社九州経済研究所
代表取締役社長

中元 公明

1982年3月 明治大学卒業
1982年4月 株式会社鹿児島銀行入行
2011年6月 同行 福岡支店長兼営業支援部
福岡事務所長
2013年6月 同行 取締役 福岡支店長兼
営業支援部福岡事務所長
2014年6月 同行 取締役 営業統括部長
2015年6月 同行 常務取締役 本店営業部長
2017年4月 鹿児島中央ビルディング株式会社
代表取締役社長
2019年4月より現職

地域課題に向き合う良きサポーターを目指して

今年の4月から内田良信前社長の後任として、株式会社九州経済研究所の社長に就任いたしました。

当研究所は地域の発展・活性化に貢献することを目的に、自治体などからの受託調査、企業向けコンサルティングや社員向けの各種セミナー、県内景況などのマクロ経済分析・発表、事業所等へのIT活用支援等の業務を行っております。

全国に先駆けて人口減少・少子高齢化が進む本県では、地域社会の存続に向けた取り組みがますます重要になっております。このような中、当研究所は地域の課題解決に向け行政や企業、大学等と連携し、今年度も様々なプロジェクトに取り組んでおりますので、いくつかご紹介したいと思います。

肝付町では鹿児島銀行を主体に当研究所はじめIHIや自治体が一体となって「地域におけるESG金融促進事業」を展開しております。当事業は環境省が全国の金融機関に対し地域における持続可能な社会・経済づくりを目的とする事業モデルを募集し、同行案が採択されたものです。事業内容は畜ふんを活用したバイオマス発電や、発電時の蒸気熱利用などでエネルギーの地産地消モデルを構築するものとなっております。この他にも同町では民間資金等を活用した住宅環境整備PFI事業（公営住宅整備）を進めております。

南九州市では市内の事業者や鹿児島銀行などと「産学官金連携による農業所得向上プロジェクト事業」に取り組んでおります。具体的には新たな加工商品の開発や販売チャネルの確保で6次産業化を推進するとともに、道の駅「川辺やすらぎの郷」の活性化で生産農家の所得や生産意欲を向上し、同市の農業振興を図るものです。

指宿市では外国人観光客（インバウンド）の滞在時間の延長や観光消費額の増加を目的に、着地型旅行商品（観光体験等）の発掘、磨き上げに取り組んでおります。具体的には香港、台湾、中国等をメインにそれぞれの嗜好やニーズに合わせた商品開発を目的としたモニター調査などを実施するとともに、インバウンド向けの観光体験等を提供する団体の育成など受入環境の整備を図っております。

出水市では今年8月に同市と鹿児島銀行が締結した「地方創生に係る相互協力及び連携に関する協定」に基づき、日本遺産に登録された出水麓地区の振興を図るため、歴史的資源を活用したまちづくりを進めています。具体的には同地区の武家屋敷群を活かした観光振興策の立案実行に取り組んでいきます。

そして鹿児島市では同市魚類市場の輸出拠点構築推進事業支援業務に取り組んでおります。当業務では前年度策定された推進計画に基づき、2019～21年度の3年間の第1ステージ（輸出助走期間）、2022～25年度の4年間の第2ステージ（輸出拡大期間）に分け、アジアを中心とする海外に向けた輸出の仕組みづくりを行うための支援を行っております。今年度は現地での展示商談会への参加等を予定しております。

当研究所は地銀系シンクタンクですが、これからも金融という枠組みを超えてまちづくりに取り組んでいきます。あわせて公益財団法人かごしま産業支援センターとも協力し合って官民連携を創出する場を生み出し、地域のために力を尽くす所存でございますので、皆様方の変わらぬご協力をお願いいたします。

経営相談所
よろず支援拠点

成果が出るまでしっかりサポート！相談は何回でも無料！ 売上げを伸ばす支援事例のご紹介

～働くコーディネーターシリーズ～ 第四回

よろず支援拠点では、中小企業・小規模事業者・個人事業主・起業を目指す方々のあらゆる経営相談に応じています。経営課題の根本的な原因を明らかにするために、相談者から詳細なヒアリングを行った上で、課題解決に向けた具体的なアドバイスを行います。具体的な事例と共に担当したコーディネーターが支援の際に注目したポイントなども含め、ご紹介したいと思います。

◆事例7◆ パンの木ベーカリー PannokiBakery (霧島市)

夫婦でパン屋をOPEN！創業を支援

【相談内容】 パン屋で働いていた経験を活かし、長年の夢であったパン屋を開業したいと考えている。今後の進め方や創業者向け融資制度・補助金などの活用について相談したい。

【支援内容】 オープンする場所が自宅兼店舗の一体的な建物であったため、事業部分と自宅部分を分けて、資金調達を検討。創業計画及び収支計画の作成をサポートしたところ、当初の計画どおり、創業資金を調達することができた。また、創業者向け補助金を活用するために、申請のポイントをアドバイス。その結果、無事に補助金も採択され、スムーズな開業につながった。

【ポイント】 相談者夫妻の熱意に応えるために、資金調達、事業収支、補助金の活用など細やかな計画のチェックと具体的なアドバイスを行ったことが、スムーズな創業につながっている。



よろず支援拠点では、創業計画の作成から、資金調達、開業に向けた準備まで一貫したアドバイスを行います。また、創業後のフォローアップもさせていただきますので、お気軽にご相談ください。

担当コーディネーター 川原 新一郎

専門分野：経営改善、事業計画、海外展開、創業



◆事例8◆ はなしょう 花昇 (鹿児島市)

老舗生花店の店舗レイアウト・ディスプレイ改善を支援

【相談内容】 創業60余年、家族で花屋を営んでいる。主に、生け花業界向けの卸売りを手掛けているが、業界人口の減少に伴い売上が伸び悩んでいる。後継者が安心して事業を引き継げるように売上が拡大させたいので、今後、どのような取り組みをすればよいか相談したい。

【支援内容】 生け花業界以外のターゲットとして、綺麗な店構えを最大限に生かして個人客を増やすことを提案した。店舗レイアウトの変更によりお客様の回遊性が高く、スタッフの作業効率が良い売り場に改善した結果、売上が増加し、スタッフの意識向上にもつながった。

【ポイント】 「つつい買いたくなる花屋」をコンセプトに店舗レイアウトを改善。レジを店奥に移動し、什器を中央に配置することによって、お客様にゆっくりと花を見て楽しんでいただく空間を演出しつつ、スタッフの作業動線がスムーズとなり、仕事がしやすい環境となっている。また、取り扱い商品の1/3を占める「胡蝶蘭」をメインにディスプレイを施したスペースを設置し、強みを生かした店舗へと生まれ変わった。



改装前



改装後

長年、お店を運営されていると、スタッフ優先のお店づくりになりがちです。買いやすさ、居心地の良さなど「お客様目線」を意識した店舗改善のアドバイスを行っています。什器の配置を変えるだけでお店の印象は変わります。お気軽にご相談ください。

担当コーディネーター 鎌田 香

専門分野：ブランディング、商品開発、レイアウト改善



相談予約は…

「鹿児島県よろず支援拠点」
までお願いします。
お気軽にご相談ください。

◇鹿児島県よろず支援拠点

所在地：〒892-0821 鹿児島市名山町9番1号 県産業会館1階

TEL：099-219-3740 FAX：099-223-7117

E-Mail：yorozu@kisc.or.jp URL：https://www.kisc.or.jp/yorozu/

【相談日】月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時15分

(祝祭日、年末年始を除く)

事業承継支援事務局

円滑な事業承継をサポート！
相談無料。秘密厳守します。

◇事業承継を支援（専門家派遣・セミナー開催等）

かごしま産業支援センターでは、鹿児島県事業承継支援事務局を設置しています。

事務局では、事業承継でお困りの県内の中小企業に対して、「かごしま中小企業支援ネットワーク」の構成員（各地域の商工団体や金融機関等）と連携しながら、税理士、中小企業診断士、弁護士などの専門家を派遣して、円滑な事業承継をサポートします。

◆支援実績◆（平成30年9月～令和元年9月）

相談件数：153件（うち、平成31年4月～令和元年9月：83件）

専門家派遣回数：87回（うち、平成31年4月～令和元年9月：82回）

事業承継支援事務局を平成30年9月に設置してから、周知期間等を経て、相談・専門家派遣ともに利用が増加しています。

まずは事業承継支援事務局又は地域の商工会・商工会議所やメインバンクにご相談ください。

事業承継診断で自社の現状を把握していただき、ご希望に応じて課題解決をお手伝いする専門家を派遣します。

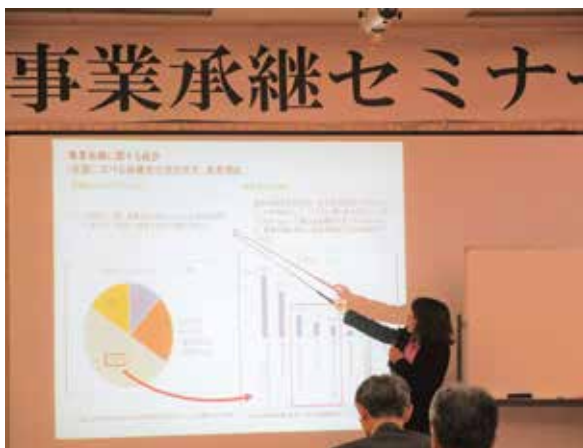
専門家の派遣は、原則年3回まで無料となっています。

また、事業承継にどんな準備が必要か、代替わりを機に新たな価値を生み出すためにどうすれば良いのかといったことを事業者に知っていただくため、10月16日に鹿児島市内で「事業承継セミナー」を開催し、企業経営者など37名の参加がありました。

今後、12月4日に種子島でも同様のセミナーを開催するほか、鹿児島県が県内5エリアで開催するセミナーでも当事務局の事業説明等を行います。

会社を経営する者にとって、事業承継はいつか直面する避けられない課題です。

皆様も是非一度お越しください。



事業承継セミナー 講師説明



事業承継セミナー 事業承継支援事務局説明

専門家派遣等のお問合せは、

◇（公財）かごしま産業支援センター 鹿児島県事業承継支援事務局

TEL：099-219-8123 FAX：099-219-1279

E-mail：syoukei@kisc.or.jp

URL：https://www.kisc.or.jp/outline/keiei/jigyousyoukeihaken/

プロフェッショナル人材戦略拠点

企業のチャレンジを担える人材との
マッチングをお手伝いします！

◇都市圏等のプロフェッショナル人材とのマッチングをサポート

鹿児島県プロフェッショナル人材戦略拠点では、人材戦略マネージャーをはじめ4人のスタッフが、登録人材紹介事業者や地域金融機関等と連携して、県内の高い成長力を持つ企業や新たな経営戦略・プロジェクト等に取り組もうとしている企業の方々と、都市圏等のプロフェッショナル人材の皆さまとのマッチング・採用をサポートしています。

採用成約は97件（拠点開設以降累計）

平成28年1月の拠点開設以来、890件を超える企業訪問や相談対応を行い、具体の求人活動に至った429件のうち、97件（人）のプロフェッショナル人材の採用成約が実現しました。（令和元年10月末現在）

《企業訪問・相談活動の実施状況》

令和元年10月末現在

区 分	今年度累計	開設以降累計
企業訪問・相談件数	172件	892件
求人取次件数	114件	429件
採用成約件数	37件	97件

※ 拠点開設：平成28年1月29日



第6回 「プロ人材求人相談会」を開催

プロ人材の求人ニーズを具体的・効率的な人材マッチングにつなげるため、去る8月23日、地域金融機関の協賛を得て、県内求人企業24社と人材紹介事業者14社との「求人相談会」を開催しました。

求人相談件数は36件。企業が求めるプロ人材像は、総務や経理の統括人材をはじめ、商品開発や販路拡大人材、技術部門の有資格者など多岐に亘っています。

この相談会の内容を踏まえて、人材紹介事業者によるプロ人材の人選と紹介、面談等が進んでおり、10月末現在で、7件のプロ人材の採用が決まりました。

相談会を契機に、多くのプロ人材の採用・成約につながることを期待しています。

【第6回求人相談会参加企業のマッチング状況】

令和元年10月末現在

採用成約に至った案件	7件
面談設定・面談中の案件	8件

※ 過去5回求人相談会の採用成約件数 50件



今後とも、県内企業の成長発展を人材面で積極的にサポートします。

まずは、
「プロフェッショナル人材戦略拠点」に
ご相談ください。

◇（公財）かごしま産業支援センター
鹿児島県プロフェッショナル人材戦略拠点
TEL：099-219-9277 FAX：099-219-1279
E-mail：projinzai@kisc.or.jp
URL：https://www.kagopro.jp/

わが社の輝く女性！

今号は、本年8月、ものづくり企業として高い技術力を持ちながら新しいことへの挑戦も続ける姿勢が評価され「第14回南日本経済賞」を受賞された、精密プレス金型専門メーカー 株式会社東郷で、製造現場の環境管理等を担当している製造管理課の下竹ひろみさんです。

株式会社 東郷

所在地：鹿児島市川田町2194
 設立：1985年10月
 従業員数：81名
 事業内容：精密プレス金型全般の設計・製造・
 販売・サービス、成形、モールド部品
 TEL：099-298-8050
 FAX：099-298-7942
 URL：<http://www.togo-japan.co.jp/>
 E-mail：togo-company@togo-japan.co.jp

下竹 ひろみさん

(しもたけ ひろみ)
 製造部 製造管理課

鹿児島女子高等学校卒
 趣味 スポーツ（観るのもするの大好きです。）



◇会社紹介

弊社は受注からサービスまで内製一貫体制を取っており、本社工場には金型部品を製造する第1工場と、金型組立、プレス加工を行っている第2工場があります。また、出水郡長島町には、主にコネクタの量産を行っている長島工場があります。

モータコア、コネクタ、ICリードフレームの金型販売を主な事業としており、近年では、コネクタプレス製品、コネクタ部品の量産にも取り組んでおり、今後は車載向けのモータ、コネクタ製造も増やしていく予定です。



プレス金型



製造現場で活躍する女性社員

◇会社での現在の担当部署は

製造管理課という部署に所属しておりますが、補助金等の申請や報告等の事務処理や取引開始時に行われる顧客からの監査対応、製造現場の環境管理等を行っております。

色々な分野の仕事に幅広く関わっているので、毎日とても充実しています。

◇入社きっかけは

今までは、事務職しか経験がなかったので、このようなものづくりの会社で働くことは想像もしていませんでした。最初は私にできることがあるのか不安も多かったのですが、会社の方から声を掛けていただきましたので、挑戦する決意をしました。

多種多様な仕事を任せていただいているうちに、ものづくりの楽しさや奥深さや将来性に魅力を感じて、今の

仕事にやりがいを持つようになりました。

◇仕事上での印象深い体験談など

初めてある装置の立ち上げを任された時、ものづくりに関して全く無知な私に、工具の使い方からのものづくりの考え方で丁寧な指導をいただき本当に嬉しかったです。

この経験が私の人生の大きなターニングポイントになり、恩返しができるように日々精進する気持ちを維持できています。

◇ものづくりに対する思いや心がけていることは

弊社会社方針にあります「お客様第一を念頭に挑戦、誠意、創意工夫により一流の世界企業を目指す」という言葉を自分の仕事のモットーにしています。

お客様が何を求めているのか、その要望を満たすために、何をすれば良いのかを考え、経験がないことにも積極的に挑戦し、創意工夫でより良い状態でお客様へ誠意あるサービスや製品を提供できるよう日々努力しております。

◇会社への思いや抱負について

事務仕事しかできなかった私に、色々な仕事や機会を与えていただき、本当に感謝しています。

経験させていただいたことを活かし、これからの東郷の発展に力を尽くしたいと思っています。

また、昨年、鹿児島県女性活躍推進企業にも登録いたしましたので、自分が率先して女性社員が働きやすい職場作りに取り組んでいきたいと思っています。



女性社員の皆さんと（後列左から2番目が下竹さん）

特集

令和元年度 鹿児島県経営品質賞 株式会社現場サポートが『知事賞(大賞)』を受賞！ 『優秀賞』に株式会社ポムフード

鹿児島県経営品質賞は、「顧客本位に基づく卓越した業績を生み出す経営の仕組み」を追求し、経営品質向上プログラムを実践している組織を表彰することで県内企業等の経営品質向上活動への取組みを促進し、県産業全般にわたる活性化を図ることを目的として、平成16年度に当センターが創設した表彰制度です。

本年度は、9月4日開催の判定委員会で推薦された2組織を受賞組織として決定し、10月15日に表彰式を開催しました。

【知事賞(大賞)】 株式会社現場サポート

代表者：代表取締役 福留 進一

所在地：鹿児島市武1丁目35-4

従業員数：46名

事業内容：情報通信サービス業

T E L : 099-251-9971

F A X : 099-259-3874

U R L : <https://www.genbasupport.com/>



受賞記念撮影



受賞スピーチをする福留社長

【受賞理由】

■ 「人を活かす経営」の追求と、「仲間」が主役の理念経営を通じた経営革新の継続

経営者も社員も事業活動を通じて「共に育つ」という「共育」の考え方の下で、自律したプロ集団へと変革してきていること。例えば、新商品であるソフトウェアConne（コンネ）を自社にも導入し、お客様と同じ視点で活用して、実際の活用具合を確認すると共に、自社の「創発の場」を実現するという、独自の取り組みをおこなっていること。

■ 頼れるパートナーとして顧客課題を解決するソリューション商品による価値提供

従来の商品販売とそのフォローが中心であった事業から、顧客課題を解決するソリューション商品である「クラボウズ」事業への変革が、社員の意識改革を生み、お客様の「生産性向上」や「顧客課題解決」に寄与していること。

■ 顧客感情にインサイトしたお客様に寄り添ったアフターフォローによる関係性強化

「お客様へのサポート業務そのものが商品」との認識の下、お問い合わせをしやすい環境、顧客感情に着目した取り組みやお客様に寄り添った提案などを通じてお客様の多面的なニーズに対応し、お客様との強固なパートナーシップを維持・強化するため改革を推進している。また、このような活動が、「開発部が集中できる体制、開発につながるニーズ発見」という効果も生み出していること。

■ ビジネスパートナーとの協働による価値提供の展開

「GSの方針や考え方を公開し、共有します」の方針の下、販売BPや開発BPとオープンで密なコミュニケーションを実施し、より密接な関係を構築していること。

■ 顧客インサイトをベースにした仮説検証による次期商品の開発とマーケティング

次の事業の柱を担うConne（コンネ）について、第二の商品としてのポジションを確実にしていくために、社内での導入結果も踏まえながら、顧客インサイトをベースにした仮説検証による改善やさらなる開発に取り組み、マーケティング活動を展開していること。

【優秀賞】 株式会社ポムフード

代表者：代表取締役社長 出原 孝雄
 従業員数：129名
 TEL：0995-62-1192
 URL：https://www.pomunoki.com/

所在地：始良市加治木町小山田5928-1
 事業内容：飲食サービス業
 FAX：0995-62-5670



受賞記念撮影



受賞スピーチをする出原専務

【受賞理由】

■リーダーシップによる理念の実現に向けた組織体制の整備

経営理念の「食を通して世のために人々のために尽くします」を確実に実現するために、Q（クオリティ）S（サービス）C（クリンネス）S（セーフティ）H（ホスピタリティ）を顧客から評価される5大価値と定義し、Q（クオリティ）のコンセプトである「あつあつ・ふわふわ・とろとろ」の技術力を高め、各店舗やFC店に独自の技術テストに合格したマイスターを配置していること。

■顧客の定義の見直しによる顧客ニーズ把握とロイヤルカスタマー化への取り組み

既存顧客を最終顧客、小売顧客、FC加盟顧客の3つに区分して顧客ニーズを把握し、店舗のない県のお客様にお届けするために、ビジネスパートナーと冷凍オムライスを開発し、商品化していること。
 併せて、何度も店舗に足を運ぶロイヤルカスタマーを飽きさせない新メニュー開発、フェア企画に取り組んでいること。

■店舗同士の絆やスタッフ間の連携を高めるコンテスト及び厨房における技術革新

マイスターによるオムライスの動画や、パート・アルバイトを含めた各種コンテストなど、全店舗参加型のコンテストを展開し、店舗同士の絆やスタッフ間の連携を高めていること。
 また、独自に開発した調理プロセスに、自動調理機器「ロボシェフ」を導入して厨房での女性の作業の軽減などにも取り組んでいること。

※鹿児島県経営品質賞の過去の受賞組織

平成30年度	今別府産業（株）：優秀賞	平成25年度	(医) 愛誠会昭南病院：優秀賞
平成29年度	(株) 藤田ワークス：知事賞（大賞）	平成23年度	(株) 九州タブチ：知事賞（大賞）
平成28年度	(医) 愛誠会昭南病院：知事賞（大賞）	平成20年度	(株) 九州タブチ：優秀賞
平成26年度	(株) 現場サポート：優秀賞	平成18年度	(株) 藤田ワークス：優秀賞

※記載のない年度は、申請組織なし

〈鹿児島県経営品質協議会からのご案内〉

- ・当協議会では、「顧客本位」の組織体制を作り上げることの重要性や、それを実現するための有用な手法である「経営品質向上プログラム」についての勉強会・セミナー等を開催しています。
- ・経営品質賞への応募を考慮しておられる企業につきましても、下記までお問い合わせください。
 鹿児島県経営品質協議会（事務局：かごしま産業支援センター産業振興課内）
 TEL：099-219-1272 URL：http://kagoshima-mqa.jp/

応援します！中小企業の経営革新！

～経営者のための経営革新支援制度活用術～

- 当センター及び県では、事業者が新たな事業活動を通じて経営の向上を図る取組を支援しています。
- このシリーズでは、「中小企業等経営強化法」に基づく経営革新計画を作成、県の承認を受けて支援策を活用し、新事業に取り組んでいる事例を紹介します。

吉村醸造株式会社

<企業概要>

所在地：いちき串木野市大里3868

設立：昭和2年

資本金：10,000千円

従業員数：57名

業種：食料品製造業

TEL：0996-36-3121

URL：<https://sakurakaneyo.com/>



● 今回開発した新商品

Q. 企業概要・沿革について教えてください。

当社は市来町（現いちき串木野市大里）において、昭和2年に創業して以来、自社で醤油・味噌を製造し、販売を行ってきました。平成10年にソース工場の新設、また、平成24年にサクラカネヨ直売所を開設し、醤油・味噌の昔ながらの量り売り方式での販売や自社開発のソフトクリームの販売、直売所の横に御飯場「よしむらや」を併設し飲食の提供も行うなど、昔ながらの変わらない味を提供するとともに、ニーズに合わせて絶えず変化してきました。

Q. 経営革新計画に取り組むきっかけとその内容を教えてください。

計画承認：平成28年12月28日

テーマ：『自社製の麴を使用した醤油蔵シリーズ「 Pasta 醤油、ハンバーグソース、しょうゆの実」の製造・販売』

直売所での直売市の開催など、地域との関わりを増やし小売に注力することで、醤油の消費拡大と地域の活性化を図っていますが、地方の人口減少や醤油離れが進行し、醤油の消費量が減少している状況もあります。

その打開策として、平成24年に商品開発室を発足し、新製品開発に取り組んできました。

その結果、自社製の麴を使用した醤油蔵シリー

ズを開発することができ、平成28年12月に経営革新計画の承認を受けることができました。

Q. 経営革新計画承認で活用した支援策を教えてください。

平成29年度、平成30年度に経営革新支援事業費補助金を活用しました。

平成29年度は、ホームページのリニューアルや商談会の出展費用に活用しました。取引先のバイヤーに見ていただいたところ、斬新で見やすく小売店への紹介がしやすくなるので成約率が高まるとの高評価をいただきました。ホームページ作成は、商談会の成約率の向上、通販部門の売上の向上に役立ちました。

平成30年度は、Instagramアカウントの開設費や商談会の出展費用等に活用しました。SNSを利用した商品やサービスの紹介を効果的に行えるようになり、首都圏の取引先も増加しました。

Q. 今後の取組について教えてください。

平成28年には商品開発室を部門強化し、サクラカネヨラボラトリー（通称サクラボ）としました。キッチンスタジオを併設した施設となっており、料理教室や手作り味噌教室などを開催し、好評をいただいております。

今後も新たな顧客を獲得するために新商品開発などに取り組めます。

■経営革新計画■

新商品の開発・生産、新サービスの提供など新たな事業活動を通じて、経営の向上を図ること（経営革新）に積極的に取り組む中小企業を支援しています。

- 【承認基準】** ①新商品の開発又は生産、新役務の開発又は提供など新たな取り組みであること。
 ②付加価値額と経常利益の数値目標が次のとおりであること。

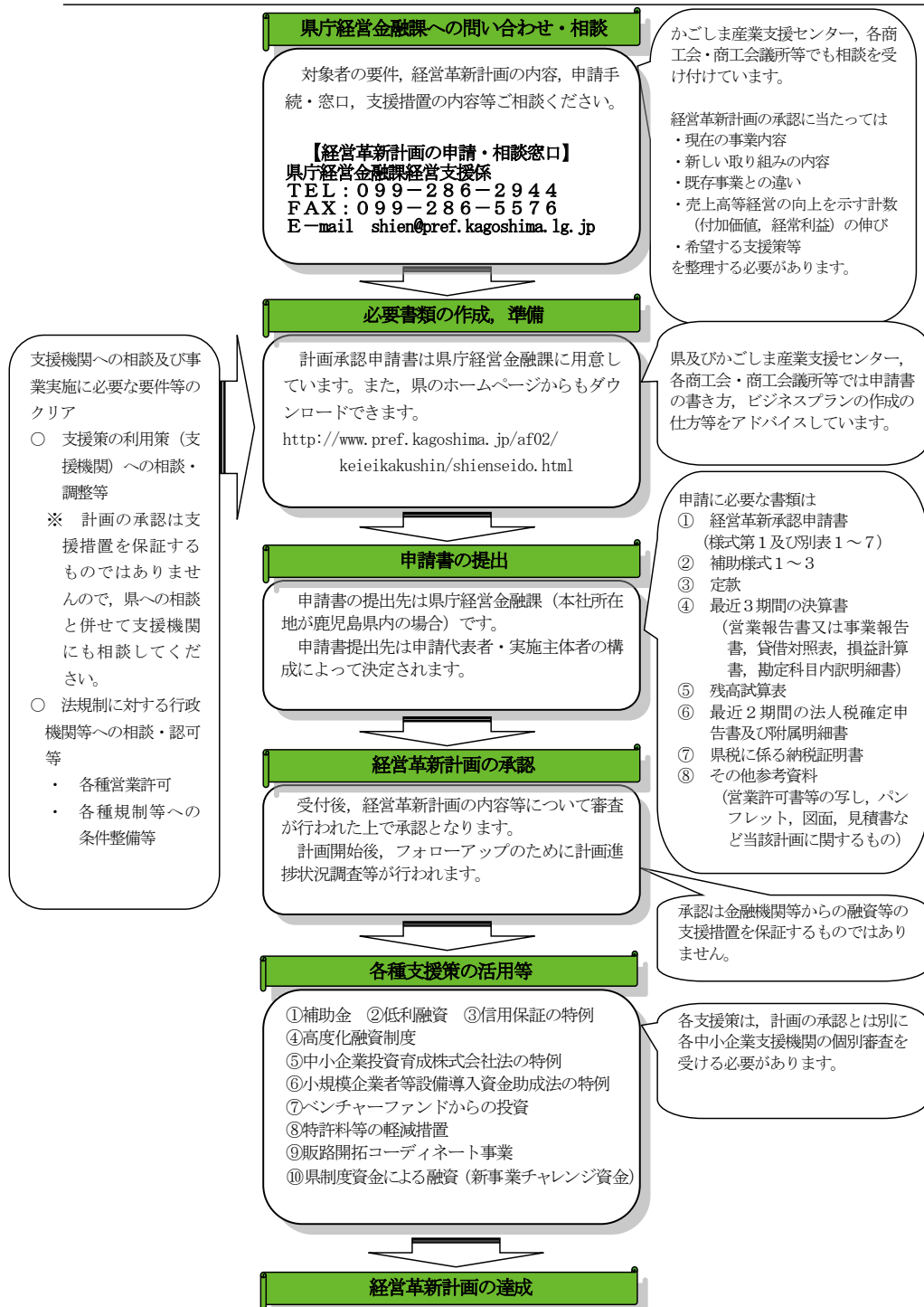
経営指標 \ 計画年数	3年	4年	5年
付加価値額（営業利益＋人件費＋減価償却費）	9%以上	12%以上	15%以上
経常利益（営業利益－営業外費用）	3%以上	4%以上	5%以上

【支援策の内容】 ①政府系金融機関による低利融資 ②信用保証の特例 ③県補助金 など

【問い合わせ先】 鹿児島県経営金融課 経営支援係

TEL：099-286-2944（直通） FAX：099-286-5576 E-mail：shien@pref.kagoshima.lg.jp

経営革新計画承認手続きのフロー



企業紹介

■会社概要

株式会社ソフト流通センターは1984年に日刊工業新聞社とコアグループが相互50%ずつを出資して異業種提携事業として設立されました。

その後2000年にコアグループから分離独立し新生「ソフト流通センター」として事業を開始しました。



本社エントランス

■当社の優れた技術

当社は鶏卵業様向けの自社パッケージソフト「PC-EGG」を全国に展開しています。また組込みシステム、ビジネス系（Web）システム、システム検証サービス、保守サポートの事業を展開しています。

鶏卵業様向け販売管理システム「PC-EGG」は、日々変動する鶏卵相場へ対応したシステムで、全国28社のお客様にご愛顧いただいております。

Windows アプリ版、クラウド版、スマホとの連動等多様な機能を取り揃え、販売より20年のノウハウで、お客様の業務改善にもお役立ていただきます。



鶏卵業様向け販売管理システム「PC-EGG」

組込みシステムとは、家電製品や産業機器などに搭載された特定の機能を実現するためのコンピュータシステムのことで、本社（鹿児島市）では発売前のスマートフォン、自動車関連の開発を中心に、皆様の生活向上を目的とした製品の開発に取り組んでいます。

ビジネス系システムでは、多様な業務スペシャリストであるSEがお客様先に常駐して業務のシステム化をサポートする部隊と、自社内の高いセキュリティが完備された専用プロジェクト室でクラウド環境を活用し遠隔地でのシステム開発を行っている部隊がいます。

システム検証サービスでは、市場に出る前の製品やサービスを一時的に預かり、動作において問題ないか、ユーザが使いやすいか確認する業務を行って



株式会社ソフト流通センター



代表取締役
社長
郡山 臣宏

所在地：鹿児島市中央町22番16号
アールプラザ4階

設立：1984年9月

従業員数：127名

事業内容：ソフトウェア開発・IT検証

T E L : 099-206-3888

F A X : 099-206-3883

U R L : <https://www.k-src.jp/>

E - mail : src@k-src.jp

おります。

実績としては、国内のスマートフォンや時計メーカー、自動車関連（車載系）などの評価を担当しており、お客様の品質向上に向けた取り組みを専門的に行っております。

システムサポートでは、利用・運用されているシステムの保守、運用維持管理を行っておりユーザー様からの問い合わせ／システム監視／セキュリティ対策／システム改修／トラブル対応などシステム運用後の様々な対応業務を行っております。

お客様先に常駐しての対応や弊社へのメール・電話での対応などお客様の状況に合わせて対応しております。

■当社の企業理念

1. 『信は行の基を為す』

仕事を通して社員一人ひとりが目先にとらわれず安心して働くことのできる企業創りを目指します。

2. お客様からも社員からも『信頼される真のパートナー』を目指します。

3. 『自分たちの仕事は自分達で創り お客様と共に成長する』ことを目指します。

■今後の展望・抱負

第4次5ヶ年計画（2018.4～2023.3）の2年目になります。

鶏卵業様向けパッケージソフトの「PC-EGG」のさらなる展開を目指すと共に、ネットワークとセキュリティが完備された環境であれば何処に居ても仕事ができるを合言葉に、首都圏のお客様の業務を鹿児島に持ち帰り若い人が鹿児島に居ながらにして、最先端の開発に携われる環境を整え若い人の県外流出やU・Iターン者の受け皿として地域貢献、社会貢献に努めたいと考えております。



2019年度入社式

特集

かごしま産業支援センター 平成30年度主要事業の支援事例紹介

(公財) かごしま産業支援センターでは、県内中小企業の総合的な産業支援機関として、新事業創出、戦略的産業振興、地域資源活用、研究開発・技術、マーケティング、情報化等の様々な支援に積極的に取り組んでいます。

今号では、平成30年度の主要事業の支援事例をご紹介します。

◇新事業創出等支援

○専門家派遣事業

創業者や中小企業等の経営、情報化、販売、マーケティング等の様々な経営相談に対応して、センターに登録している民間の専門家を派遣し、診断助言を行いました。(採択9件)

企業名：(株)幸洋
所在地：薩摩川内市平佐町3687-1
業種：木製品製造業
(パルプ搬送用
木製パレット)



《作業領域・置き場・通路が
明確になった工場内》



《工程前ストア（置き場）と着工カード》

《テーマ》

工場の生産ラインの改善による
生産効率の向上および
社員の意識改革

《支援内容・成果》

取組内容：①工程配置図の作成、②設備配置の見直し、③工程前ストア（置き場）の設置、
④着工カードの導入による後補充生産などについて専門家が支援しました。

具体的な成果：工場の生産ラインの改善により、作業領域、製品・仕掛品の置き場、通路などが明確になったことで物の移動がスムーズになり、作業者の動きもムダが少なくなった。

また、着工カードの生産指示に基づき使用した分だけ生産する「後補充生産」を導入したことで余分な在庫を持たなくなり、生産効率及び付加価値額の向上につながっている。その他、各工程の生産状況が見えるようになったことで、社員間で向上心の更なる醸成が図られるなど意識改革にもつながっている。

○中小製造業者創業・新分野進出等支援事業

創業、新たな分野への進出又は規模拡大に取り組む中小製造業者（今後製造業を営もうとする者を含む）に対し、経営計画の策定や人材育成、研究開発、販路開拓等に要する経費の一部を助成しました。(採択23社)

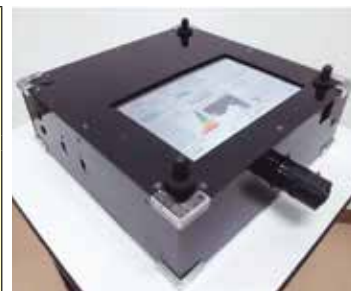
企業名：(株)オーケー社鹿児島
所在地：鹿児島市西千石町4-1
業種：生産用機械器具製造業

《テーマ》

自動車業界向け静電塗装時異常
放電検出装置の開発

《支援内容・成果》

自動車塗装メーカーにおいて、スパーク事故の未然防止の手助けとなる装置を購入しやすい価格帯で開発・製品化することを支援しました。様々な異常放電現象をリアルタイムで検出し、作業者に通知することができることから、自動車業界に限らず、異常放電未然防止にニーズのある業界の企業へ、広範囲に営業展開を図ることとしています。



《放電アナライザー》

企業名：アロン電機株
所在地：薩摩郡さつま町
永野950
業種：生産用機械器具製造業

《テーマ》
異物検査装置の汎用モデル
開発による食品分野への進
出と販路拡大

《支援内容・成果》
これまで培った画像処理技術を活用し、新たな撮像方法、動作機構等の開発により、省スペースに対応したサイズ半減、価格半減の汎用モデル異物検査装置を開発することを支援しました。
コンパクトかつ低価格を実現したことから、瓶詰めされた焼酎や清酒等の液中にある異物の検出などへの導入が期待されます。



《異物画像検査機》

○起業家スタートアップ支援事業

起業を通じた新たな雇用の創出や若者・女性の活躍の場の拡大、地域の活性化を図るため、卸売業、小売業、サービス業で起業しようとする方や起業後2年未満の方を対象に、創業初期に要する経費の一部を助成するものです。
(採択59件)

企業名：シェイク&ハート
所在地：鹿児島市原良
1-15-1
業種：喫茶店

《テーマ》
家族の絆を深められる保育、
食育をテーマとする子育て
支援カフェの開業



《店舗の外観》



《店舗内の様子》



《キッズルームで遊ぶ親子》

《支援内容・成果》
子育て中の家族が安心して利用できる食材を使った季節感や年齢に応じた献立の提供、子育てに不安を抱える家族などへの保育支援や息抜きのための託児など、食育と保育をテーマにしたカフェの開業に必要な店舗改装費用やダイニングテーブルなど整備費に要する経費の一部を助成しました。
当初の予定どおり店舗をオープンされ、子育て中の保護者や健康志向のお客様に多数利用いただいています。

◇戦略的産業振興支援

○重点業種研究開発支援事業

自動車、電子、新成長分野（環境・新エネルギー、健康・医療、バイオ、航空機）関連産業に係る新技術や新製品の研究開発を行う中小企業者等に対し、その経費の一部を助成しました。
(採択3件)

企業名：藤安醸造株
所在地：鹿児島市谷山港
2-1-10
業種：食料品製造業

《テーマ》
生活習慣病予防等の機能性
を持つ『肌ぬか由来 新規
調味食材（FBG）』の研究・
開発

《支援内容・成果》
肌ぬかを原料とした新規調味料FBG（Fujiyasu Bran Grind）について、機能性研究、食品への応用研究、FBGの商品化への取り組みを支援しました。
本事業で、FBGの血圧上昇抑制、認知症予防の効果を確認し、試作したFBG添加食品について食味、食感等を調べることができました。今後、商品名「肌ぬかのめぐみ」で商品化を目指す予定です。



《商品化を目指している「肌ぬかのめぐみ」》

○**食のプレミアム商品開発支援事業**

国内外の高付加価値商品の購入層をターゲットとした商品開発、新市場開拓、販路拡大など、県内食品関連事業者が行う付加価値向上の取り組みに対し、その経費の一部を助成しました。 (採択7件)



《有おりた園：ふり抹茶》



《株オキス：ベジタバる》



《有鹿児島ますや：お魚ハンバーグ》



《株下園薩男商店：あおさの佃煮》



《有かごしま有機生産組合：オーガニックベビーフード》



《南薩食鳥株：ハルスープ》



《株和香園：スイートほうじフレーバーグリーンティ大隅キウイ》

○**食品加工技術レベルアップ支援事業**

食品製造業者の技術的ニーズと機械製造業者のもつ技術的シーズのマッチングを行い、当センターとの共同研究による機械装置の試作開発に取り組みました。 (共同研究2件)

《共同研究者》

企業名：本坊酒造(株)
所在地：鹿児島市南栄3-27
業種：飲料・たばこ・飼料製造業
企業名：(株)フジヤマ
所在地：鹿児島市七ツ島1-4-12
業種：金属製品製造業

《支援内容・成果》

現在手作業で行っているスモーク焼酎の燻煙作業を生産性と品質向上を実現する機械装置の試作開発の共同研究に取り組みました。
本事業で、生産効率と品質向上が図れる機械装置を開発することができました。
本坊酒造(株)では、今後、生産状況を見ながら微調整を進め完成度を高めていきます。
また、(株)フジヤマでは、燻煙装置関係への進出も可能となりました。



《試作したスモーク焼酎の燻煙装置》

《テーマ》

スモーク焼酎の燻煙装置の試作開発

◇**研究開発・技術支援**

○**新事業研究開発助成事業**

新技術、新製品等の開発など技術高度化を志向する中小企業者等に対し、研究開発や試作品開発等に要する経費の一部を助成しました。 (採択1件)

企業名：カクイ(株)
所在地：鹿児島市唐湊4-16-1
業種：繊維工業

《支援内容・成果》

大学と共同開発した菌株を使用し、綿からセロビオースを効率よく生産するための研究開発を支援しました。
本事業で、酵素の生産技術の条件やセルロースの分解反応条件を検討し、それぞれについて課題と解決の方向性を見出すことができました。また、ラボスケールでのシステムを構築することができました。研究開発を継続し、セロビオース生産技術の確立をめざして開発を進めていく予定です。



《有用菌の培養実験》

《テーマ》

セロビオース生産の効率化システムおよびオンサイト酵素生産技術の開発

◆◆◆ 取引振興コーナー ◆◆◆

令和元年度 かがしま取引商談会開催のご案内

県外の発注企業を招へいし、県内受注企業と商談を行っていただく「**かがしま取引商談会**」を開催します。商談会の詳細や参加申込み方法については、今後、当センターのホームページに掲載します。

日時 令和2年1月29日(水) 13:00～19:00
会場 ホテルウェルビューかごしま(鹿児島市)
主催 ビジネスマッチング協議会
後援 かがしま取引推進協議会
対象 【業種】一般機械、金属、電気、電子、情報サービス関連企業等
 【参加企業】発注企業20～30社、受注企業60社(予定)



第一部：商談会 (13:30～17:00)
 事前に受発注企業の組み合わせを作成し、これに基づいて発注企業1社あたり受注企業6～8社と商談していただきます。
第二部：交流懇親会 (17:15～19:00)
 商談会終了後、発注企業と受注企業に情報交換していただく交流懇親会を開催します。

【お問い合わせ先】(公財) かがしま産業支援センター 取引振興課 担当：迫田
 TEL: 099-219-1274 FAX: 099-219-1279

取引あっせんの実施状況と効果

【H29年度取引あっせん案件～1年後も約7割が取引継続、取引金額は当初の約3倍に！】

当センターでは、H29年度に229件の「取引あっせん」を行い、**71件、113,758千円**の取引が成立しました。1年後の状況を調査したところ、**継続している取引は48件、金額は当初の約3倍**に拡大していることがわかりました。

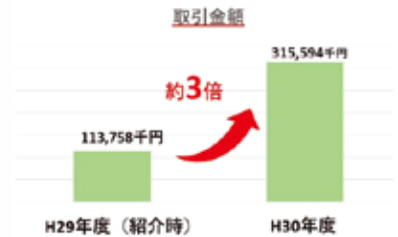
このように当センターの「取引あっせん」は県内中小企業の新たな販路や受注拡大に大きく貢献しています。

【あっせん時(平成29年度)】

◆取引あっせん	229件
◆成立件数	71件
◆取引金額	113,758千円

【1年後(平成30年度)】

◆取引件数	48件(約7割)
◆取引金額	315,594千円(約3倍)



ISO審査
教育・研修

ISO 広場

地元で安心
コストも安い

JAB・ANAB を選べる審査代理店

南日本審査株式会社

〒899-5431 鹿児島県始良市西餅田 3344-2
 TEL: 0995-64-5727 FAX: 0995-64-5078
 URL: //www.minami-sinsa.com お気軽にご相談ください

公益財団法人 Kagoshima Industry Support Center
 かがしま産業支援センター

〒892-0821
 鹿児島市名山町9番1号(県産業会館2F)
 TEL (099) 219-1270
 FAX (099) 219-1279
 E-mail: kisc@kisc.or.jp https://www.kisc.or.jp